

## 外来・在宅医療体制に係る調査の実施について

## 1 背景・経緯

- ・県による「鳥取県外来医療計画（令和2年4月策定）」の策定過程において、令和元年度に開催された本協議会において、計画策定にあたっては数値など表面的な見方ではなく、地域特性や今後の診療所の存続など将来動向も踏まえた検討が必要とのご意見をいただいた。
- ・また、東部圏域の病床機能や病床数を検討する上で、患者の退院後の受け皿について、現状と将来動向を把握することが必要となっている。
- ・国は第8次医療計画の令和6年度の開始に向けて、令和5年度には第8次医療計画策定作業に入る。
- ・外来医療計画も第8次医療計画の策定に併せて見直し検討が行われる。

◆関連する事項のスケジュールの詳細は「参考資料」のとおり

## 2 想定される設問（案）

## （1）外来医療について

- ①従事する医師数・年代、②延べ患者数、③2030年時点での存続見込

※次の項目は別の手法において把握が可能であるため調査項目の対象外とする。

## 〔予防接種、検診事業の医療機関登録など〕

- ・予防接種の実施状況
- ・がん検診の実施状況（胃内視鏡検査）

## 〔外来医療計画による報告など〕

- ・医療機器の配置状況（CT、MRI、PET、マンモグラフィ、放射線治療機器）
- ・透析医療の実施状況、外来での化学療法等の実施状況

## （2）在宅医療の実施の有無について（現在と将来の動向）

- ①在宅医療の現在の実施有無、②2030年時点での実施見込、③在宅医療推進の課題

## （3）在宅医療の実施体制、取組状況について（現在実施している取組状況）

- ①従事する職員数、②従事する医師年齢、③対象エリア、④訪問診療の状況（患者数、訪問回数、移動距離等）、⑥対応している医療処置、⑦対応している疾患、⑧緊急時の対応（休日、夜間等）、⑨病院との連携（後方病床、退院カンファレンス）

◆「外来・在宅医療提供体制に係る調査票」（案）は「別紙」のとおり

## 3 調査項目・対象、実施時期

今回お示しした（案）をたたき台として、令和4年度の実施に向けて今後引き続き検討していく。